

## 令和5年度 江戸川区立小岩第一中学校 学校関係者評価 最終評価報告書

|                   |   |                            |  |
|-------------------|---|----------------------------|--|
| 学校教育目標            | 自主性に富んだ生徒を育てる<br>責任を持って行動する生徒を育てる<br>健康で情操豊かな生徒を育てる   | 目指す学校像<br>目指す児童像<br>目指す教師像 | みんなが幸せになれる学校<br>次代の社会の担い手となる生きる力を身に付けた生徒<br>学校経営参画意識をもって職務を遂行し、教育目標の達成に努める教師 |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題 | <p>&lt;成果&gt; 新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見られない状況でも、感染予防や状況を鑑みながら学校公開など地域や保護者の参観ができ、保護者や地域の理解を深めることができた。また、自己肯定感を育てる行事等においても、教育課程を見直しながら教育活動を継続することができた。</p> <p>&lt;課題&gt; 昨年度まで中止となっていた教育活動や地域の活動が今年度から実施され始めるにあたり、昨年度まで培った工夫や対策を活かしながら計画を立て、組織的な運営を実践していく。家庭と地域と学校がさらに一体となって、開かれた教育課程の実現を目指す。</p> |                            |  |

| 教育委員会重点課題        | <取組項目>・評価の視点   | 具体的な取組   | 数値目標  | 自己評価 |    |  | 学校関係者評価 |   | 年度末に向けた改善策  |
|------------------|--|--|---|------|----|--|---------|---|---|
|                  |  |  |   | 取組   | 成果 | 成果と課題  | 評価      | コメント  |   |
| 学力の向上            | <学力の向上><br>・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実                               | ・家庭学習の推進に向け「江戸川っ子study week」を取り組む<br>・放課後補習事業者による放課後補習教室の効果的な活用<br>・校内研修「ICT機器を利用した各教科の指導と充実」を実践、iPadを活用した授業力を向上 | ・各学期に1週間「江戸川っ子study week」とし、家庭学習の計画を立て自主的な学習習慣を身に付ける<br>・英数ともに放課後補習を150回程度実施、CD層を40%台にする<br>・アンケート「iPadの効果的な活用」項目で肯定的な意見を70%とする | A    | B  | ・各学期に1週間「江戸川っ子study week」を実施できた<br>・放課後補習を150回以上実施達成、CD層を数学は40%台達成、国語は50%台未達成<br>・「iPadの効果的な活用」項目で肯定的な意見を56%で未達成 | B       | ・主体的な学習の推進を今後も図ってほしい<br>・少数数学の効果が出ている。継続実施を希望する<br>・iPadの活用は生徒も望んでいるようなので、さらに活用してほしい    | ・校内研修テーマ「iPadの効果的な活用」を継続実施し教員の授業力向上を図る<br>・放課後補習とともに「江戸川っ子study week」を推進し家庭学習の充実を進める  |
|                  | <読書科の更なる充実><br>・読書を通じた探究的な学習の実施・充実   | ・発達段階に適した探究的な学習として、読書科の年間授業数の確保と読書科コンクールを実施<br>・小岩図書館司書による書籍の充実  | ・探究的な学習を通して、読書科を各学年年間35時間実施する<br>・読書科コンクールを実施し、成果物を作成する   | A    | B  | ・読書科年間35時間を実施済、区読書科コンクールに出品した<br>・小岩図書館司書によって書架整理が進んだ  | B       | ・学芸発表会でのピリオパトルは見応えがあった<br>・図書館の連携はこれからも必要と考える   | ・読書科年間時数を達成、探究的な活動を推進する<br>・小岩図書館とのさらなる連携を図っていく                                       |
| 体力の向上            | <運動意欲や基礎体力の向上>   | ・年間指導計画に基づき補助運動を実施<br>・河川敷や近隣の小学校の協力を得て、体育の授業や部活動を実践   | ・都体力調査の項目「50m走」を0.1[s]短縮し都の水準を達成する<br>・運動部に関して、部活動指導員や地域の力を活用する   | B    | B  | ・都体力調査の項目「50m走」で、都の水準を達成<br>・部活動指導員や外部指導員を活用し、体力の向上を図れた  | A       | ・校庭が使えない状況でも体力の向上は評価できる<br>・3年間見直しをもって、体力向上が図れている                                       | ・さらに後2年間は校庭が利用できない状況であるが、区のスポーツ振興課に協力を仰ぎ体力の向上に努める                                     |
| 共生社会の実現に向けた教育の推進 | <特別支援教育の推進><br>・ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実<br>・エンカレッジルーム(EC室)の活用促進<br>・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実 | ・オリバラ講演など、障がい者理解の講演会や体験活動を実施<br>・EC室の多機能化、SCやSSWなど関係諸機関との連携を強化<br>・副籍交流を実施し、共同学習に取り組む                            | ・校内委員会(特別支援)を年35回以上実施、情報共有を強化<br>・EC室を教育相談以外にも居場所づくりとしての役割を持たせる<br>・特別支援学校と連携し、副籍交流3回実施   | A    | B  | ・校内委員会を年35回実施し、関係諸機関と情報共有が図れた<br>・校内別室指導支援員を配置し見守り体制を強化できた。居場所づくりの充実が図れた<br>・鹿本学園との副籍交流3回実施できた                   | B       | ・オリバラ講演の実施は今後も継続し、障がい者理解を深めるなど多様性を認め合う素地の育成を願う<br>・校内別室指導支援員の配置は、生徒の居場所づくりに貢献していると考えている | ・多様性を認め合える情操を育てるため、外部人材を活用し、体験する機会を増やす<br>・来年度も校内別室指導員の配置を申請し、居場所づくりの充実を図る            |
| 子どもたちの健全育成       | <子どもたちの健全育成に向けた取組><br>・hyper-QU、個人面談の活用<br>・不登校対策の実施・充実<br>・教育相談の強化                                  | ・hyper-QU調査やいじめ調査を実施し、いじめや非行傾向などの早期発見、早期解決を図る<br>・多様な居場所づくりとして、学校サポート教室など関係諸機関と連携<br>・SCとSSWの連携を取り、教育相談の機会を充実    | ・保護者アンケートで「相談環境」に関する項目において肯定的な意見を75%とする<br>・1年生全員対象にSC個別面談、ヤングケアラーの個別面談を実施<br>・年30日前後のSSWとSCの連携を図り、家庭への助言支援を図る                  | B    | B  | ・保護者アンケートで「相談環境」に関する項目において肯定的な意見を77%を達成した<br>・1年生全員にSC個別面談とヤングケアラーの面談を実施できた<br>・年35回、SSWとSCの連携し家庭への助言支援を図れた      | B       | ・社会ではSNSの不適切な利用など増加傾向にある。さらなる取組を期待する<br>・生徒自ら授業の取組を評価している。今後も生徒の教育環境の充実に向けてほしい          | ・hyper-QU調査やいじめ調査を継続し、いじめや非行傾向などの早期発見、早期解決に力を注ぐ<br>・関係諸機関と連携を深め、学校と家庭がともに育てる意識を醸成していく |
| 地域に広く開かれた学校の実現   | <自校の取組の積極的な発信><br>・学校ホームページの充実等<br>・学校公開の実施・充実   | ・学校生活を学校ホームページに随時更新<br>・土曜授業以外にも、講演など参観を呼びかける  | ・学校HPのアクセス数を年10万回を達成する<br>・学校公開年4回の他、学年毎の講演など保護者に参観する機会を増やす   | A    | A  | ・学校HPのアクセス数を年10万回を達成した<br>・仮設校舎でも、学校公開などに多くの保護者の来校があった   | A       | ・学校HPの更新回数が多く、教育活動が見えて良い<br>・運動会や学芸発表会の他にも公開があり良かった                                     | ・見やすいものに学校HPのリニューアルをしていく<br>・学校公開の感想が書きやすいようにICT化を進める                                 |
|                  | <学校関係者評価の充実><br>・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施  | ・学校評議員会の開催<br>・保護者向けのアンケートを実施<br>・生徒向けのアンケートを実施  | ・学校評議員に行事以外にも通常の授業を参観する機会を増やす<br>・学校関係者評価は中間と最終の2回HPにて掲載  | B    | B  | ・学校評議員会を開催、保護者と生徒アンケートを実施した<br>・学校関係者評価は中間と最終の2回HPにて掲載できた  | A       | ・落ち着いた授業ができていた様子を見ることができた<br>・アンケートから、より良い教育活動を目指してほしい                                  | ・アンケート内容を教育活動に適したものに再考していく<br>・学校評議員会の意見をもとに改善充実を継続し図る                                |
| 特色ある教育の展開        | <生徒憲章(生徒自ら策定)の具現化><br>・生徒の活躍する機会の充実  | ・生徒会中心に生徒が主体的にできる活動を励行する<br>・仮設校舎での制限の中、何ができるか生徒と教員とともに考える   | ・地域のボランティア活動や地域のコンクール募集を増強する<br>・生徒アンケートで「生徒会や学級活動での積極的な参加」の項目において肯定的な意見を90%とする   | A    | B  | ・地域活動(地域まつり、運動会)へのボランティア参加が増えた<br>・生徒アンケート「生徒会や学級活動での積極的な参加」で肯定的な意見が72%となった                                      | A       | ・地域まつりや地域運動会以外にも多くの場面で中学生ボランティアが参加し、運営が円滑に進めることができた                                     | ・地域で活躍する中学生の場を今後も推奨していく。一部の生徒だけでなく多くの生徒がボランティアに参加できる機会を増やしていく                         |